

平成24年度の重点課題

- 全学年の男女とも、「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全学年の男子は、「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 県平均値かつ全国平均値を上回る種目の割合が、男子37.5%、女子25%と低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「立ち幅跳び」→ パワフルタイムで、毎日5分間大股ジャンプ・スキップ走・早歩き走を実施（全校児童）
- 「長座体前屈」→ 体育の授業の導入部分で、柔軟体操を実施 家庭でも入浴後の柔軟体操をするよう呼びかける。

重点課題

- 全学年の男女とも「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低く、「50m走」「立ち幅跳び」で県平均値かつ全国平均値を下回る学年が多い。
- 1～5学年の女子は、「握力」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 県平均値かつ全国平均値を上回る項目の割合が、男子32.5%、女子29.1%と低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 低・中学年では、めあてカードを持たせ、体力向上への意欲を高め取り組ませる。  
高学年では、体力分析シートを持たせ、自分の体力について知り、体力向上への意欲を高め取り組ませる。
- 「長座体前屈」→ 体育の授業の導入部分で、柔軟体操を実施する。  
家庭でも入浴後の柔軟体操をするように取り組む。
- 「50m走」→ 体育の授業で様々な走る運動・運動遊びを取り入れるとともに、スタートの仕方・走り方・ゴールの仕方を指導する。
- 「立ち幅跳び」→ 体育の授業で大股ジャンプ・スキップ走・両足とびを取り入れる。
- 課題のある種目について、2月に再度記録をとり、自己目標の設定の見直しをさせ、さらに体力向上への意欲を高める。

平成26年度の目標値

- 「長座体前屈」「50m走」を県平均値以上にする。
- 「立ち幅跳び」は前年の記録より10ポイント以上上げる。
- 県平均値かつ全国平均値を上回る項目の割合を男女とも前年より30%以上にする。